

iモードベスト勝手サイト、本上まなみ、最先端マンション真鍋かをり

週刊  
no.459  
2000  
6.14

# ★島

毎週水曜日発売  
¥350

11本制覇で新CMの女王誕生!!

**本上まなみ**  
**CM全仕事**  
**未公開シーン**付

完全  
独占!!

映画「クロスファイア」主演

**矢田亜希子**

「マツモトキヨシ」の「エミちゃん」  
最初で最後の「セクシー」!! **緒沢凜**

水着を脱いだアイドルたち  
吉野公佳、みづほ、町田恵、桜井智ほ  
レースクイーン初水着16人  
全国美人お天気キャスター31人  
「梅雨入り教えてください」

カリスマ美容室「アクア」登場  
**超人気サロン提案**  
**大人の男“夏のヘア”**

人気連載!!  
**真鍋かをり**  
**山口もえ**

テリー伊藤、宮嶋茂樹  
細野真宏、木村和久

プライベート携帯禁止!! 名前を消すメディアの今

**高度IT社会**  
**“匿名性”のワナ**

シリーズ揃いで300万円!?

**ビックリマンシール**  
**11年ぶりの復活騒動!!**

ノートからデスクトップまで最新カタログ

**10万円でゲットの**  
**ベストパソコン**

オートウェブイエローハットほかの  
スゴすぎるサービスと設備

**「カーショップ」は遊園地!!**

格安メンテ修理からラジコンサーキットまで

## 東京「進化型」マンション22軒

## 大阪「進化型」マンション22軒

最先端の多機能!! 完売続出のまったく新しい住空間の衝撃的誕生!!

24時間インターネット、ホテルサービス、現代アート、専任医師まで

完全  
保存版 **「公認」より100倍面白い**

# iモード「勝手」サイト70

必中出会いサイト/ゲームで賞金1万円/ドラマあらすじ/チケット入手/バス時刻表

# うちのヴィッツが ハングマシンになった!



レース参加に興味はあっても敷居が高く足踏みしていたレーサー予備軍の出番がきた。注目のナンバー付き車両によるヴィッツシリーズ、いよいよ開幕。最近サエないニッポンのレース界も、これで勢いを取り戻すのか!?

参加人数66名中、実に半数が初心者！ヴィッツシリーズいよいよ開幕！！  
薄曇りの富士スピードウェイに  
集まった、仰天の初心者さん達

ゴールデンウィーク真っ最中の5月3日、富士スピードウェイで開催される「ネットスカップ・ヴィッツシリーズ」開幕戦の出走者リストを眺めていて、「あやめ」と名乗る選手を見つけた。「おいおい、これじゃ芸者だよ」と思ったら、事情を知った人が「彼女は実は、その芸者です。新橋で現役の」と教えてくれて仰天した。確かにプロアマ混合の競技である自動車レースは、ときおりかなりの変わり種も登場するのだが、とうとうここまで来たか、と。

これも、ヴィッツレースが引き起こした異変かもしれない。ヴィッツレースは、今年始まったばかりの「登録ナンバー付き車両」で参加できるレースである。つまり、ふだん街乗りに使っているクルマでレース当日サーキットに乗り付け、レースを戦って、そのままそのクルマで帰宅し、翌日からまたドライブや通勤やお買い物にも使える、という仕組みである。

これまで、ナンバー付き車両によるレースは許されていなかった。頭の固いお役所関係が、競技車両と乗用車はあくまでも別物だと言いつけていたからだ。そのおかげで自動車レースは初心者には縁遠いものになっていた。乗用車とは別に競技車両を作り、それをトランスポーターに載せて運搬するのは手間も金もかかりすぎた。

結局、「レースはしたいけど金は

## NetzCUP 「ヴィッツシリーズ」の魅力

今シーズンからスタートしたトヨタ車によるワンメイクレースがネットスカップで、アルテッツァシリーズとヴィッツシリーズがある。両シリーズとも今年は、富士、鈴鹿、筑波、SUGO、TI、ハイランドの全国主要6コースを巡って全8戦が行われる。そのほとんどが全日本GT選手権レースの前座として組み込まれている。ヴィッツシリーズは新たなレース参加者を開拓するための入門カテゴリー、アルテッツァシリーズはプロを目指す選手がワザを磨く国内最高峰の市販車ワンメイクレースという位置づけ。ナンバー付き車両で楽しめるのはヴィッツレースの方。上位入賞者、シリーズ上位ランカーに支払われる高額賞金も魅力だ。

▲開幕戦には81台のエントリーがあったが、車両が間に合わず結局66台が出走





ピンクのウィッツを駆る新橋芸者  
あやめさん(年齢不詳)

▼佐賀から自走の疲れも見せず、レース初参戦だったにもかかわらず見事予選を通過、決勝を41位で終えたひとりで帰っていった。今後は佐賀から全戦自走(!)で参加予定

# 芸者さんからマイホームパパまで ウィッツシリーズ 開幕戦の個性派ドライバー

関古鳥鳴くレース業界にあって、希望者多数のため車両が間に合わないほど盛況なウィッツシリーズ。その中でもここで紹介する4人のような、ずっとレースにあこがれていた初心者達が、このシリーズの主演である。

▲ライセンス名に「あやめ」を使うにあたり、芸者組合の承認を得たという、ちなみに第1戦は新橋のきれいだじころが芸を披露する「東とどり」参加のため欠場とのこと



心配する愛妻のために予選落ち  
阿部浩之さん(31歳)

▲奥さんの千夏さんは危険を理由にレース参加には難を示したが、ウィッツならOKを出した。ところが「レースではずいぶん安全運転だな〜(笑)」などと不穏な感想

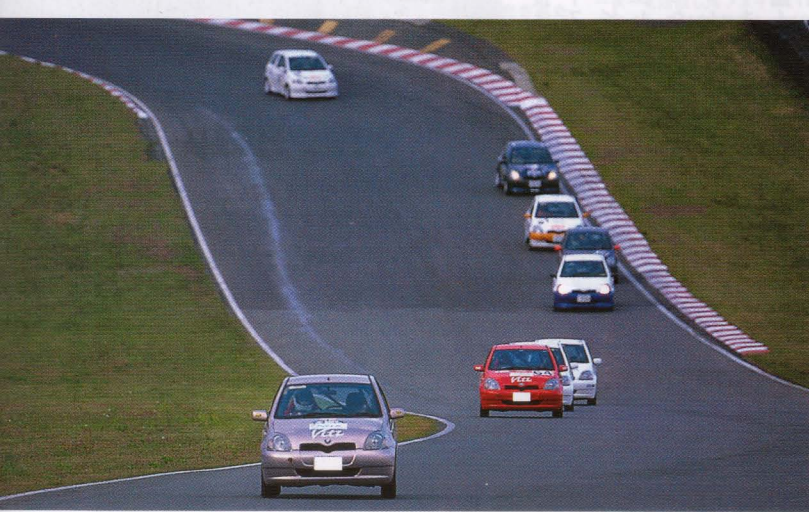


はるばる佐賀からやって来た  
松尾龍宏さん(26歳)



気分はもうピクニック  
高田英明さん(27歳)

▲奥さんの富士奈さんと息子の拓夢くんはピクニック態勢、さすがに拓夢くん用チャイルドシートはレース中に取り外した。自家用車も兼ねているので順位より無事完走が目標



▲参加者は人気レース全日本GT選手権の前座として大観衆の前を走る。ちょっとしたプロ気分も味わえる。

「山猫レース」で走りざるをえなかった。ところが世の中は皮肉なもので、お手軽な非公認レースは結構人気を集めちゃったりしていたのに、正式のレースは入門者が激減していた。ウィッツレースはこうした事情に正面から踏み込み、突破口を開いた。そしてその突破口に、これまで行き場所を見つけれずにいた入門志望者が、目覚めたようにどつとんだれ込んだ、というわけだ。

「レースは初めて」なのだという。これほどまで初々しさにあふれた公認レースが、かつてあったらどうか。たとえば高田英明さんは、助手席に奥さんの富士奈さん、ロールケージに囲まれた後部座席にはチャイルドシートを装備し1歳1か月の愛息、拓夢くんを乗せてサーキットへやってきました。大学時代は自動車部の部長を務めながら、これまでレース経験はなかった。ウィッツレースが若き



▶華奢な身体をシートに固定し、出撃。ふだんは和服でコラを乗り回すという伝説有り

子供の頃からずっと自動車レースにあこがれてきた

# それぞれの想いをのせ 小さいヴィッツがひた走る

日の夢をよみがえらせてしまったのだ。「でも、順位は二の次。このクルマは自家用車も兼ねていきますから、とにかく無事に帰らないと」と、高田さんは楽しそうに笑う。

阿部浩之さんは、奥さんの千夏さんと3人で千葉の松戸からやってきた。実は今回開催された開幕戦は、5月2日に合同練習、5月3日に予

選と決勝というスケジュールで行われた。「結構ぼくと同レベルの初心者が多いので、安心しました」と言う阿部さんは、費用を抑えるため千夏さんと2日間にわたって松戸の自宅と富士スピードウェイの間を「競技車両」で往復した。いかにもナンバー付き車両レースならではの戦い方だ。

松尾龍宏さんにはあやめさん以上に驚かされた。彼は自宅のある佐賀から、たったひとりで競技車両を2日間かけて運転してきたという。パドックにたどりつくくなり、まずはキャンプ用のテントを広げて基地作りにかかり、練習も予選もひ

▲予選落ちレースに出走したあやめさん(左)は、トップから半周近く遅れながら見事完走。

まっちゃんかと思うほどの安全運転を繰り返した。



とリ黙々と走る。旧き良き時代のイギリスのクラブマンレースを思い浮かべたのは年寄りのオレだけか？松尾さんは「ヴィッツレースのことを知って、これだと思った」瞬間にクルマを発売、ミレニアムイヤーにちなんで、登録ナンバーも20000番を確保してレースに臨んだこだわりの派でもある。

ちなみにあやめさんもこの3人もレースは初めて。もちろん、本気で参戦している本格派や元プロボクサーの薬師寺保栄さんなど有名系もいるが、半数はこうした草レース指向の超初心者レーサー達。パドックには、ピクニック兼走行会みたいな不思議な雰囲気の流れる。これって案外、気持ちいいかも。

ちなみに、松尾さんは見事予選を通過し45台による8週の決勝に進出したが、あやめさん、高田さん、阿部さんは残念ながら予選落ち。ただし初心者向けのヴィッツレースには、予選落ち組だけの4周レースまで用意されていて、参加者全員がしっかりとレースを堪能して帰っていった。彼らの本当に楽しそうな顔を見て、取材なんかするより、今度はオレも彼らと一緒に走りたいと思った。

## ステッカー

シリーズ・スポンサーのステッカー張り付けが義務づけられる。これだけでも、クルマは一気にレーシングな雰囲気になる。

## シート&シートベルト

シートはノーマルでもよいが、多くの参加者は、レースに向けバケットシートに交換していた。4点式シートベルトは公道走行時には使用不可で、少々面倒だが取り外さなくてはならない。

## Netz CUP ヴィッツシリーズに 出場するには

まず車両を準備する。TRD-MSBを購入すればそのまま最小限OK。もしベース車両となるヴィッツをすでに持っていたら、安全装備や強化パーツを追加すれば良い。特別なメンテナンスをする気がなければ友だち同士あるいはたったひとりでレースに参加することは可能。ちなみにエントリーフィーは1レース3万5千円+消費税。Netz Cup ヴィッツシリーズに関するお問い合わせは、T.R.A. (トヨタカーレース・アソシエーション) ☎03-34 09-2391 (祝・祭日を除く月～金、10時～12時、13時～17時)まで。また、インターネット(<http://www.toyota.co.jp/ms/>)で手引き書その他詳細情報入手できる。

## SPEC

排気量997cc。最高出力 70ps/6000rpm。最大トルク 9.7kgm/4000rpm。5M/T・3ドア。これにロールオーバー防止機構、4点式シートベルトの他足回り強化パーツ (強化サスペンションはオプション) を組み込んで、ベース車両より22万円高の106万0000円 (税別)。



## タイヤ&ホイール

ノーマルタイヤなら銘柄は自由。ただしいわゆるSタイヤ (競技用) は不可。サイズや空気圧の選択に勝負を左右するポイントがありそう。サイズは155/80R13~185/60R14の範囲に限られる。

## エアロパーツ

純正部品、純正オプション部品に限り装着可。個性派にはちょっと物足りないが、性能均衡、コスト抑制のためにはしかたがない。

## エンジン

性能に関わる一切の改造は不可。つまり、みんな同じ条件で競争ができる。70psと確かに非力だが、それだけ腕がモノを言う。

## トヨタ・ヴィッツ TRD-MSB

ヴィッツレース用競技車両「ヴィッツTRD-MSB」は全国ネット店で「乗用車」扱いで販売されるのだ。問い合わせは、最寄りのネット店または株式会社トヨタモデリスタインターナショナル「カスタマイズ・コールセンター」☎03-5453-5083 (祝・祭日を除く月～土、10時～18時)まで。

限りなくノーマル車

# Netz CUP用ヴィッツは こんなクルマ